

## 6.2 教育・研究指導のあり方

### 進捗状況報告

学生の導入教育に関しては、カリキュラム委員会で集中的に議論を行い、新科目の導入および既存科目の内容見直しを2009年度改訂のカリキュラムに反映した。

担任による学生への成績の手渡し・面談、およびGPA下位者の面談は制度として確立し継続して実施している。履修単位数制限は、2009年度改訂カリキュラムでもさらに見直しを行い、特に3～4年次の履修単位数の上限を下げる決定をした。

成績優秀者の履修単位数制限緩和、授業日数の確保に関しては、2009年度より全学的制度として規定することが決定している。休講に対しては、土曜日を補講日として確保して対応している。

### 学内第三者評価

学生への導入教育については従来から取り組みが進んでいたところであるが、改組に伴うカリキュラムの見直しに際してさらに検討が進められている。GPAに基づき下位生に対する面談などを通じた個人指導が行われていることや、補講の体制の整備など、目標として掲げた課題が進捗している。

なお、学外委員からは以下の意見があった。  
目標がきわめて具体的に設定されていることから見ても、日頃から学生の教育に細心の注意が払われていると判断できる。  
必要な対応策が適切にとられている。